

広報



あ ま 海 士

平成19年

3

No. 404

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場
TEL (08514) 2-0111

◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)
Eメール:info@town.ama-shimane.jp



町の人口世帯数

総人口 2,458人(-3)
男 1,158人(-3)
女 1,300人(-0)
世帯数 1,096世帯(+5)
住民基本台帳(2月末現在)
()内は12月末との比較

限りない可能性を持つ未来に向かって…

2月3日、海士中学校2年生20名を迎えて36回目となる立春式が隠岐開発総合センターで行われました。保護者や来賓の見守る中、式典が行われ、その後、5名の代表が14歳の節目に決意新たに将来に向けての目標や課題を発表しました。この一年いろいろな経験を積んだ2年生の成長を感じた場となりました。 (関連記事P 2)

主な内容

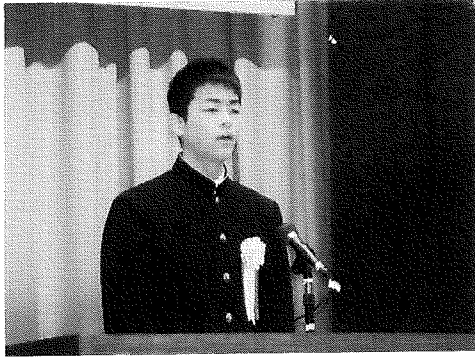
- 地域ブランディング研修会他……………2～3
- 第36回立春式他……………4～5
- 福祉事務所開設について……………6～7
- 議会だより……………8～11
- 教育だより……………12～13
- 隠岐島前高校だより他……………14～15
- 戸籍の窓……………16

14歳の春 意気高らかに 新たな誓い！

2月3日、隠岐開発総合センターにおいて立春式が行われました。

この立春式は、人生の節目として14歳（昔の元服に当たる年）になった少年の自覚を促し成長を願う、まちを挙げての行事で、今年で36回目を迎えました。

今年立春式を迎えたのは、海士中学校20名（男11女子9人）です。土曜日の開催とあって一般の方の参加もあり、式典は、保護者や来賓の見守る中、山内町長から「自分の



少年の主張をする演 尚也くん

特性を活かして、自分はどうありたいと決意すること、それが立志です。自分に何かを決意してほしい。」との式辞があり、その後、生徒を代表して田口淳くんが「この立春式を機に、私たちは、常に夢を持ち、何事にも臆することなく、勇気を持って挑戦していく」と誓いの言葉を述べました。

式典後の少年の主張では、代表の5名が将来に向けての新たな決意を力強く発表しました。また、近年、国立市との交流が深まる中、

昨年6月の修学旅行でホームステイし、同市にある一橋大学では、ふるさと学習の成果「わが町のPR」を発表しました。そのご縁からホームステイ先の家族の方や、また、新宿日本語学校の教職員の皆様、そして、生徒であったフランスの方々からも激励のメッセージを送っていただくなど、国内外からたくさんの方の激励メッセージをいただきました。



感謝の気持ちを込めて『初心の歌』を披露

また、立春式の講師であり、この1月から本町にIターンされた岩本悠さんから『自覚・立志・健康に向けて』と題した激励の言葉をいただくなど、この立春式が彼らにとって夢と希望に膨らむ新たなスタートとなりました。

最後に生徒から列席した保護者や来賓に感謝の歌を披露し厳粛の中にも和やかに式を終えることができました。

この立春式を迎えた20名が健やかに成長するようみんなが温かく見守りたいものです。



少年の主張



激励の言葉をいただいた岩本悠さん。



菱浦地区 青色防犯灯 試験導入 防犯意識の高揚に一役



山内町長から福山雄三(菱浦)区長に青色防犯灯の目録が手渡されました

スコットランドの都市で街の景観対策として、青色の幻想的な輝きを放つ街灯を設置したところ、犯罪件数が年間一万件も減ったそうです。青色には心理的に人を冷静にさせる効果があるそうです。

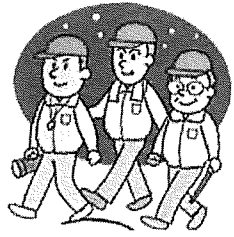
このことは、すぐに世界中に注目され、日本でも、「青色防犯灯」として一部の地域で導入され、その効果が表れているとのこと。

幸い海士町は凶悪犯罪とは無縁な町ではありますが、絶対に安全という保障もありま

期待するということよりも、住民一人ひとりの防犯意識高揚にあります。

この防犯灯の設置を機にさる『安全・安心なまち』でありたいものです。

青色防犯灯を見かけたら、ほんの少しでも防犯について考えていただければと思います。



せん。

そこで、犯罪の不安なまちづくりの一環として、

浦郷警察署の協力により、菱浦地区内に計25

本の青色防犯灯を試験的に設置し、2月23日に

は点灯式が行われました。この

青色防犯灯設置の目的は、直接

犯罪抑止効果を

防災の決意新たに

海士町消防団出初め式

平成18年海士町消防団出初め式が、1月6日隠岐島前高校体育館において行われました。

消防団員81名が結集し、今年一年の防災の決意を新たにしました。

式典では山内町長から、「住民の皆様方の生命財産を守ることはもとより、安全で快適なまちづくりを目指し、行政と一体となった地域ぐるみの消防体制の確立が重要である」とあいさつがあり、また、

島津消防団長は、「地域住民の生命と財産を守るため、誇りと自信を持ち、住民から信頼される消防活動に取り組んでほしい」と訓辞されました。

また、永年消防活動に功績のあつた団員に表彰状が贈られました。

表彰を受けた方々は次のとおりです。

海士町消防団長表彰

(精勤章)

5年勤続

田口 光一
山本清史郎

上野 哲也

道橋 幸男

10年勤続

波多 努

波多 誠

山内 弘行

梅谷 知則

藤田 秀行

藤田 諭

富谷 洋

濱 洋幸

15年勤続

渡辺 宏

吉元 晃

中前 康久

亀原 敦武

山崎 明

新谷 重喜

松田 明男

高橋 弘丞

中橋 啓一

花岡 孝佳

波多 努

波多 誠

海士町長表彰

25年勤続

波多 誠

波多 努

島前消防協会会長表彰

渡辺 宏

吉元 晃

中前 康久

亀原 敦武

山崎 明

新谷 重喜

松田 明男

高橋 弘丞

松尾 晃

中橋 啓一

山内 弘行

梅谷 知則

藤田 秀行

藤田 諭

富谷 洋

濱 洋幸



式典前には、菱浦港(旧観光協会前)において一斉放水が行われました。

響まろい」ブランド化勉強会

海士の魅力再発見！

去る2月10日(土)町内の様々な業種で働いている方々にお集まりいただき、海士の魅力を再発見し、町内外に広めていく方法を考えるための勉強会を行いました。

この取り組みは人間力推進プロジェクトが企画したもので、当日は40人の参加者がありました。まず、広告代理店の博報堂で地域振興のお仕事をしておられる渡邊啓さんのご講演をお聞きした後、参加者全員でワークショップを行いました。渡邊さんからは、地域振興を行っていくためには『特産品(モノ)ブランド』と『観光地(場)ブランド』『歴史・文化・自然・風土など』『暮らしブランド(教育・福祉など)』の3つの領域でブランド力の向上を図っていくことが非常に重要であるということ、民間企業や日本国内の他地域、イギリスなど他国の事例を交えながら、わかりやすくお話しして頂きました。続くワークショップでは、町外の方々に対して海士は地

域としてどんな魅力をPRし、各種交流やU・I・ターン者の増大などに結び付けていくべきかということについて、グループに分かれて話しました。

各グループの発表では、「海や山が近くにあり、家族皆で四季の変化を楽しむことができる」「地域つながりの中で安心して子育てができる」「都会に比べて生活費が安い」「知恵を授けてくれる人がいる」点など、たくさん魅力が海士にあることが再確認され、その魅力を町内外の人たちに発信していくためのキャッチフレーズとして、「心スイッチ温(オン)〜海士町〜」「田舎が好き あなたを変ええる町〜海士町〜」「家族の絆 地域の絆 再発見 海士町で」「原点海帰！」などの言葉が参加者の皆さんから提案されました。今回の企画を通して、参加者の皆さんが海士の魅力を再発見するとともに、それぞれの今後の活動に活かしているという意識の共有を図ることができました。

【参加者の皆さんの声】
海士の魅力はなんと言っても人！その魅力を外に対して発信していきたいと思った。

▼楽しかったし勉強になった。今度はもっと多くの町民が参加できる形で、このような会をしてほしい。

▼民間、行政で働く人が共に学び、普段考えていることを話し合えたのがよかった。

【吉元財政課長のお話】

今回の勉強会を通して、地域の皆様とともに町づくりを行っていくことの重要性を改めて痛感した。今後は、住民の皆様が自ら考え行動できるような活動を、これまで以上に支援していけるよう取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。

インタイン生 中川健太



魅力溢れる海士町をどうPRするのか真剣に考えました。

青色防犯パトロール隊出動！



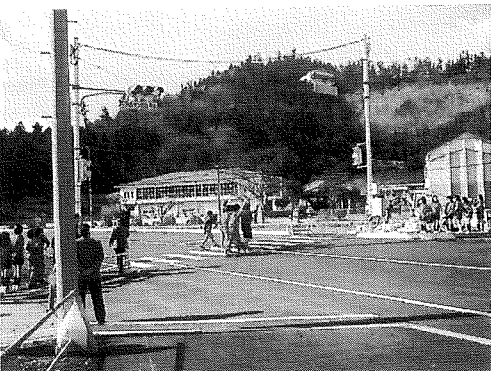
昨年末の12月8日、福井小

海士小学校で青色防犯パトロール隊の出発式を行いました。近年、全国で子ども達を対象とした痛ましい事件が多発し、子ども達の安全については地域で守ることが重要であるとの観点から、この度、海士町の有志でボランティア団体「海士ブルーライトパトロール隊」を発足させ、青色回転灯を装着した車両3台を使用し、子どもの見守り活動を展開することになりました。パトロール隊の隊員は、竹下一昭さん(御波)、野津昇昭さん(宇受賀)、福山雄三さん(菱浦)の3名で、今後、子

ども達の通学路などを中心にパトロールを行うことになっており、小学校の児童と関係者の皆さんが見守る中、盛大な出発式となりました。町民の皆さんのご理解ご協力をよろしく願います。

信号機渡り初め

福井小学校前の県道が拡幅改良されたことに伴い、福井小学校正門付近の旧道に設置されていた信号機が改良された県道に移転設置されました。1月10日、福井小学校児童の皆さんと交通安全の関係者の信号機の渡り初め式を行い、新設を祝うとともに交通安全の誓いを新たにしました。



移転した信号機の渡り初めをする福井小の児童たち



1月7日 ~AMAを歌え!~

今年度全国から海士ワゴンに乗って述べ250人の若者が来島されました。お陰で回を重ねる毎に“海士ファン”が増え、豊かな自然に感動し、島民と交流が深まる中で癒し、癒され、お互いに刺激され、色々なドラマがあった一年でもありました。今回はついに、訪れた方の力でAMA（海士）ソングが作られ、1月7日には音楽イベントまで開催されました。その様子をお知らせします。

海士町を訪れて以来、海士を忘れられない人たちが、好きになった人たちが、音楽イベントを企画した。みんなが一つになれるような、あったかくなれるような、島の人たちに、本土から来る人たちにも喜んでもらいたくて・・・そんな想いを込めて、

◆一人の女の子が、この島で音楽に触れた。崎の小学校。海士に、素晴らしい伝統芸能があることも知った。海士を訪れて、自分自身、感性が開くのを感ずるといふ。なぜだろう？彼女は、ずっと考えている。人を囲む自然、歴史が支える文化、最強なのは海士の人たち。海士の人は「打てば響く」「感性が開いている気がします」と、彼女はいう。自分に何が出来るだろうか？・・・彼女は問う。

◆「なぜ海士なの？」自分がこの島に来た当初、よく訊かれた台詞を、今、彼女らによく使う。自分も上手く答えられないように、彼女らも上手く答えられないようだ。青春十八切符で、電車を乗り継ぎ、約一七時間もかけてやって来

る人もいる。そんな彼女らは、自らの力で、この島に足を運び、自らの力で想いを行動に移す。そんな彼女らの想いに、自らも動かされる。

◆島内、島外関わらず、色々な人、色々なタイムング、偶然、必然、人の繋がりが、人の想い、海士の底力が、このイベントを実現に導いた。海士の人々、プロのギタリストを動かした。

「内」も「外」も色々な人が交じり合う。そんなイベントになればいいなと思っていた。◆人の繋がりがあってこそ、初めて動き出すモノがある。自分独りじゃ何も生み出せないことが、改めて深く心に響いた。「人」と「人」とが、「想い」と「想い」が繋がって、初めて何かが生まれる。この島が、これからも人の繋がりが、想いを大切にしている場所であればいいな。そして、誰にとっても「居場所になるかもしれない」。

AMA・NET 豊政幸司



最後に今回「海士に逢ってみたい！」と、自ら足を運び、演奏していただいた旅人ギタリスト・下館直樹さんのコメントをご紹介します。

「一緒に雑魚寝をした皆様、一緒に掃除をした皆様、一緒にごはんを食べた皆様、一緒に酒を飲んだ皆様、一緒に笑いあつた皆様、一緒に釣りをした皆様、一緒に月を見た皆様、イベントを手伝っていた皆様、イベントに参加していた皆様、いろいろな形で力を貸していただいた皆様、遠くから想いを届けて、応援していただいた皆様、ほんとうにありがとうございます。皆さんのサポートがなければ、僕はギターを弾けませんでした。さりげない気遣い、温かい心おもいやり、やさしさを沢山いただきました。海士町滞在中は、一分一秒でも多く皆さんと時間を過ごして、心の交流をしたと思うことができました。みなさんがどのように地球の世界を生きて、感じているか、知りたいと思

っていました。ひとこと、ふたことでは語れない、たくさん魂の交流がありました。また心の財産が増えました。大昔、通信技術も印刷技術もない、テレビもラジオも新聞も雑誌もない頃の、人間がメディア、であることの大切さを強く感じる事ができました。皆さんが持っている優しさ、お互いの交流の中で、力強さに変わっていくのを感じます。海士町滞在中の一瞬の出来事が、無意識の中に入って、思わぬ時に、フラッシュバックしていくと思います。とても楽しみです。これからの皆さんとのコミュニケーション、とてもワクワク楽しみです。今後ともよろしくお願い申し上げます。本当に本当に、ありがとうございます。』



隠岐法律相談センター 各種相談所に開設日程のお知らせ

2007年(平成19)年4月～2008年(平成20)年3月
原則午後1時～3時(隠岐汽船の時間によって変更有)

相 談 日	担 当 者	相 談 日	担 当 者
平成19年4月27日	津田 和美	10月26日	田中 庸雄
5月25日	田中 庸雄	11月22日	田中 庸雄
6月22日	妻波俊一郎	12月21日	錦織 正二
7月27日	田中 庸雄	平成20年1月25日	田中 庸雄
8月24日	鳥居 竜一	2月22日	野島 幹郎
9月28日	田中 庸雄	3月28日	田中 庸雄

◇担当弁護士が、松江・出雲在住のとき

前日午後5時00分までに予約がない場合は実施しない

◇担当弁護士が隠岐在住の時、当日、相談時間内であれば予約をとる

* 諸般の事情により、相談日時が変更になる場合があります。

▼お問い合わせ先

〒690-0886 松江市母衣町55-4 松江商工会議所ビル7F

島根県弁護士会 担当 井上

TEL 0852-21-3225 FAX 0852-21-3398

平成19年4月1日より

「海士町福祉事務所」が新設されます

3月末で、「隠岐福祉事務所」が廃止となり、4月からは海士町役場健康福祉課内の中に「海士町福祉事務所」が新設されます。今後は次の業務を「海士町福祉事務所」が行うこととなります。

「海士町福祉事務所」で行う主な業務は下記のとおりです。

- ・生活保護に関すること
- ・母子・寡婦に関すること
- ・児童扶養手当に関すること
- ・特別児童扶養手当に関すること

(海士町福祉事務所)

* 窓口：海士町役場 健康福祉課内(隠岐開発総合センター)

* 電話：08514-2-1823

なお、「隠岐福祉事務所」内の中央児童相談所隠岐相談室と島根県地域福祉課隠岐スタッフは、これまでどおり隠岐合同庁舎(隠岐の島町)で業務を続けます。

4月以降の電話番号は次のとおりです。

- ・08512-2-9706(総合)
- ・08512-2-9810(児童相談、女性相談、専用ダイヤル)
- ・08512-2-9718(ファクシミリ)

ヒュー・プリステン先生の 外国人の新鮮な目で海士を見て

フレッシュ・アイス・オン・あま

Vol. 10

ホワイトデーって何でしょう？
に未来の夫と出会うと信じて
いました。

皆さんはバレンタインデーという習慣をご存知ですか？日本では2月14日に好きな人や友達や同僚にチョコレートなどを上げる習慣が1958年に始まりました。どうやって日本に來たでしょう。実は日本のチョコレートを作るお菓子会社の作戦でした。もっとチョコレートを売るための作戦でした。

さらに、1965年に、ホワイト・デーは日本でマシユマロを作るお菓子会社によって発明されました。最初は、「マシユマロデー」と呼ばれましたが、ホワイト・デーになりました。それは男性に、女性のあげるホワイトチョコレートをたくさん買わせる作戦です。

実はヨーロッパでは1400年ぐらいからバレンタインの習慣が始まりました。男性が好きな女性に告白やプレゼントなどをし、女性はその日

外国（ヨーロッパ、アメリカなど）で色々な習慣があります。歌を歌ったり、カードを書いたり、プレゼントや花を買ったり、ロマンチックな行為をしたり、しています。

それは相手に感謝を伝えり、刺激し合ったりするためです。私はホワイト・デーよりバレンタインデーの方が大切ですから、日本でもそういう習慣ができるといいなと思っています。バレンタインデーに茶色のチョコレートやホワイトデーに白いチョコレートだけをあげるじゃなくて、本物の習慣を守って友達や相手にバレンタインデーをやってみませんか？会社に作られた習慣を祝うより、St. Valentine's Dayを祝いませんか？

※ご本人が日本語で書いたのを、そのまま載せています。

未成年者飲酒防止の推進

【未成年者飲酒防止のための取組】

「未成年者飲酒禁止法」により、20歳未満の者の飲酒は禁止されています。

(主な内容)

- ① 満20歳未満の者は酒を飲んではならない。
- ② 親や親の代理をする者は、監督する未成年者の飲酒を制止しなければならない。
- ③ 酒類を扱う販売業者や飲食業者は、未成年者が自分で飲むことがわかっている場合には販売してはならない。
- ④ 酒類を扱う販売業者や飲食業者は、未成年者の飲酒防止に資するため、年齢の確認その他の必要な措置を講じるものとする。
- ⑤ ②に違反した者は科料に、③に違反した者は50万円以下の罰金に処す。

未成年者の親には、「未成年者である子供の飲酒を制止する義務」

酒類販売業者等には、「未成年者が自ら飲むことを知って酒を販売しない義務」及び「未成年者飲酒防止に資するための必要な措置を講じる義務」を定めています。

また、違反した場合の罰則は、飲酒をした未成年者本人ではなく、親や、未成年者が自ら飲酒することを知りながら酒を提供した販売業者等に対して科されることになっています。

4月は未成年者飲酒防止強調月間です！

未成年者の飲酒は 法律で禁止されて います。



12月定例会

議会だより

第453回定例会が12月14日に招集され、2日間の会期日程で開催されました。

今回提出された議案は、補正予算6件、条例制定4件、条例改正2件、一般事件案5件、諮問1件で、慎重審議の結果いずれも可決されました。

また、「全国森林環境税の創設を求める意見書提出」の件が議員発議で提出され原案のとおり可決されました。

主な補正予算

▼隠岐汽船支援費

「フェリーおき」の購入負担金

2億4千2百万円

財源は過疎債充当で、償還時70%が交付税措置、残額の27%は県負担金、海士町の実質負担は3%にあたる726万円となる。

また、隠岐汽船から要望のあった固定資産税相当額の389万4千円の補助金を支援する。

▼地方債繰り上げ償還金

1億5373万6千円

▼生活路線バス補助金

578万8千円

▼下水道管理委託費

693万7千円

▼農業共済事務負担金

380万1千円

▼「サンライズうずか」への負担金(県費)

409万5千円

一般会計の予算規模は
42億5779万9千円

条例制定について

○海士町障害者相談支援センター設置条例の制定

(提案理由)

障害者自立支援法において市町村の必須事業の一つである相談支援事業を健康福祉課内に位置づけ、サービス利用計画の作成費を請求するために事業所指定が必要であるので設置する。

○海士町福祉事務所設置条例の制定

(提案理由)

島根県から市町村への事務移譲が進んでいる中、生活保護や母子福祉等の業務についても、より住民と密着した福祉サービスの展開をするため福祉事務所を設置する。

○海士町入湯税条例の制定

(提案理由)

地方税法第701条では「鉱泉浴場所在の市町村は、入湯税を課するものとする。」と規定されており、海士町ではマリントホテル海士が該当施設となるため、新たに条例を制定するものである。

○海士町観光施設整備基金条例の制定について

(提案理由)

海士町入湯税条例に基づき徴収した入湯税をマリントホテル海士等の観光施設の整備や維持補修の財源として積み立てるための基金条例である。

○海士町保育所入所措置条例の一部を改正する条例について

(提案理由)

児童福祉法の改正により措置から保育の実施に改められたことによる。

その他

○平成18年7月豪雨災害の措置状況は町道8箇所、林道1箇所、8340万3千円となる。

○安倍新内閣が再チャレンジ支援策の一環として「頑張る地方応援室」が設置され、当町の山内町長が指名を受け、去る、11月20日に「頑張る応援プログラム」に関する総務大臣と市町村長懇談会」に出席され、本町の行財政改革と産業振興の取り組みについて、交付税確保の観点から方向性と必要性を強く訴えられた。



一般質問

一般質問には、4名の方々が登壇し、町長の施策について、次のとおり質問がなされた。



高松 照佳 議員

新規道路の進捗状況は！

問 議員

前回の7月16日大雨に見られるように、松江市玉造の方にしても、町内の災害にあつた道路でも盛り土された道路が大変に災害に弱かつたと言ふことがわかつたので、ぜひ災害に強い道路の建設を願ひながら、「日須賀・崎線」と「ふるさと農道整備」並びに「飼料基盤活用促進整備事

業」の作業道の進捗状況を伺いたい。

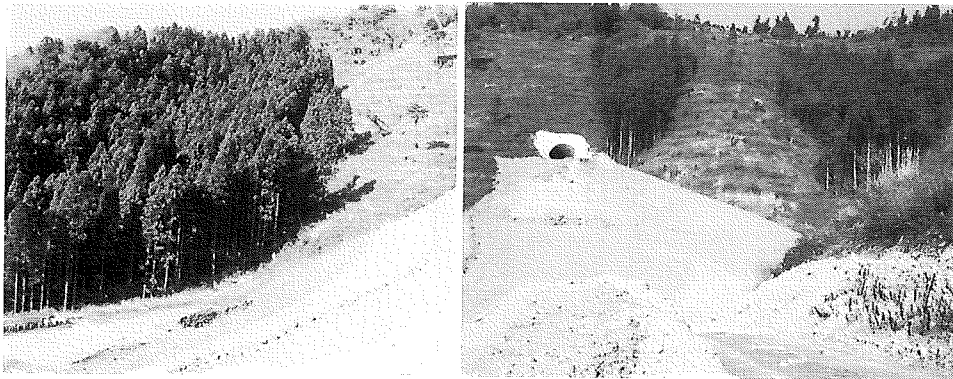
答 町長

「日須賀・崎線」の進捗状況は、現地測量、道路測量を終了し、現在用地買収に向けた用地測量を行つており、平成19年度に用地買収を終え、平成20年度から県の代行事業で工事を行う予定である。

また、「県営ふるさと農道整備事業」については、現在トンネルの覆工である内側のコンクリート工事が終了して、これからトンネルの舗装工事にかかるところで、今年度でトンネル工事は全て終了予定。続いて平成19年度は西側の山を切つて御波側へ盛土を行い、井の元の溜池の下り付近まで法面工事等併せて舗装工事を先行終了の予定だが、その続きを平成20年度から西一般農道で行う予定である。

「飼料基盤活用促進整備事業」の作業道については、「強い農業づくり交付金事業」で行つており、草地開発整備の工事である。本年度は事業費5900万円の家督山を中心

に整備を進めている。内容は草地造成が11・8畝の整備で牧道から家督山地まで約2kmまでの間を幅2mのコンクリート舗装で仕上げる予定であり、舗装の進捗率は25%で2月末にはおおむね完了予定である。今後は多方面の有効活用を期待している。



御波側から見た県営ふるさと農道。

町史編纂と第4次総合振興計画は！

問 議員

昭和49年12月25日に田邑二枝さんにより町史の編纂がされ、1千部ほど発行されたが、その後の町史の編纂・発行はどのように？

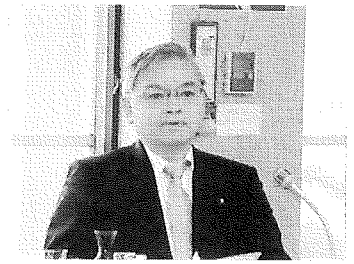
答 町長

さらに、総合振興計画についてであります。第1次が54年1月、第2次が平成元年、第3次が平成10年12月22日議決され、第4次は平成20年度ですが今後の町の振興計画にどのような策定方法で、どのような計画なのか考えを伺いたい。

町史編纂については、昭和の中期以降の記録が希薄なこともあつて、続編として戦後からの記録を編集することとし、平成11年下旬から故人になられた田中公さんに委託して、編集作業を進めて参り、平成17年度末には概ね終了して監修作業に入る相談をしておりましたが、田中氏が病に

伏してしまい、今年7月亡くなられる1週間前に病床から最後の原稿が届けられ、田中氏の想いの深さを感じ、改めてそのご功績に対し感謝申し上げ冥福をお祈りするものです。今後は然るべき有識者に原稿の整理を依頼した後、平成19年度中には発行したいと考えている。

平成21年度から第4次総合振興計画になるが、基本的には第3次総合振興計画にある「人づくり・モノづくり・健康づくり」の3本柱の取組みや考え方を継承発展させながら、特にこれから「未来を支える人づくり」や環境政策も加えながら循環型の持続可能な島づくりを重点的に考えており、次の時代を見据えて先手必勝の施策が必要であり、住民の手作りで、日本の最先端のモデルとなるような「島づくり」を目指して、第4次総合振興計画の策定に取り組んで行きたいと思つて居る。



花岡 美近 議員

学力テストの結果は！

問 議員

本年5月県内の児童・生徒の学習到達度を調査すること... 小学校3年生から中学校3年生までの48、652名を対象に学力テストが実施され、その結果、県内の児童・生徒の成績は全国に比較して少し下回っていることが明らかになった。

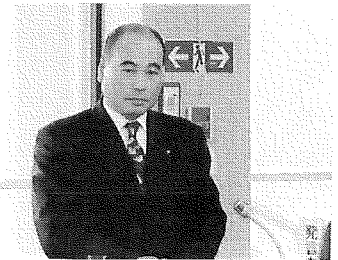
私が3年前、週5日制実施は学力低下が懸念される指摘をし、教育長は『新しい教育課程で基礎基本の徹底によってその成果は着実に反映されるものと思う』と答弁されたが、今回の調査で海士町の児童生徒の学力テストの結果

は！

答 榊原教育長

今回の学力調査の結果は、小学校においては、全体として達成率が低く、中学校は、概ね達成できていない結果となった。

この結果を受け海士町教育委員会では、各学校管理職との間で2回懇談会を行い、クリアすべき目標まで繰り返し学習させ、基礎・基本の定着を図る取り組みの報告がなされた。我々は調査の結果を真摯に受け止め最大限活用しながら、また、地域の力や現在人間力推進プロジェクトで進めている様々な取り組みを通して『智・徳・体』のバランスのとれた人間力の育成を目指して行きたいと考えている。



寺下 雅人 議員

未婚の解消は！

問 議員

この度島根県においても外部有識者でつくる県少子化対策支援協議会が、知事に対し提言を行った。その中に「出会い促進を担った未婚者バンクの創設」これは、公的機関が未婚男女を対象にした登録制度を設け、効率的また効果的に出会いイベントの参加を呼びかけるとなっている。

町内にも結構未婚者がおり、問題は中年の人達にも出会いのチャンスをと願う者である。昨年と今年、出会いと定住を目的とした諸々のツアーが行われ、今後もこのようなイベントを引き続き行うか伺いたい。

答 町長

未婚化の解消については、行政が直接お手伝い出来ることと出来ないことがあって、昨年も出会いの場づくりを色々実施してきたが、実際には効果的な取組みに至っていない。

今後は「海士町エンゼルプラン」の中で「出会いの環境づくり」という施策を掲げており、民間のグループの方々と一緒にやってやらなければならぬ。一方では定住促進事業と絡めながら積極的に取り組んでいく考えである。



家庭で育児をする家族を対象に行われているわくわくタイムで遊ぶ子どもたち



柏原 広行 議員

教育基本法改正に伴う海士町教委の対応は！

問 議員

教育基本法というのは戦後アメリカの押しつけと言うか憲法と同じように自分たちで作ったものではないんだと言うふうなことで大変議論があるようだ。

この教育基本法が改正された暁には市町村の教育委員会というのはどういうふうに対応されるか伺いたい。

答 榊原教育長

新しい法律が教育施策にどう反映されるのかと言うようなことを我々は見守っているところである。

特に新法の議論となった



「伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国と郷土を愛する心」と言うところに
 おいては、島根県が推し進め
 ている「ふるさと教育」を待
 つまでもなく、本町では総合
 的な学習の時間や、「アドベン
 チャーキャンプ」「子ども議
 会」等の社会体験活動を通し
 て、ふるさとに誇りを持って
 語れる子ども達が育っており、
 郷土を愛する心が育まれ、ま
 た、そこから国を愛する心が
 育まれると言うふうにして
 いる。法律が成立されたこと
 によって、財政的な措置もも
 う少しあるのかと期待してい
 る。

**空き家リニューアル
対象住宅の条件は！**

問 議員

空き家のリニューアル事業
 の利用状況と選定にあたって
 の条件はどのようになつてい
 るのか伺いたい。

なぜなら、急傾斜対策地域
 の中で未実施の箇所であり、リ
 ニューアル工事が行われている。
 常任委員会で担当課に聞いた
 ら急傾斜地であると言うこと
 を入居者に十分理解しても
 らつて、保険云々という言い
 方をされたが、私達、議会と
 しては急傾斜対策の工事を
 やつて、安全な住宅を提供す
 べきではないかと思う。こう
 いう危険な住宅を皆様に提供
 することにについては、承認し
 たいものがある。

答 青山交流促進課長

選定にあたっては、まず、
 戸数を15年度・16年度、特に
 16年度については、多くの定
 住者を受け入れたいという思
 いがあり、特に概算見積りの
 中で安価のものを選定する考

えで、優先的に安いものから
 取り組んで実施している。



答 町長

危険かどうかと言うことは、
 何十年来住んだ地で、住民を
 守るといふ意味でこの急傾斜
 工事をやっている。すぐそれ
 が危険だとかどうだとか言う
 ことにはならないと思う。当
 然、命は大事にするべきと
 思っているし、危険な状況で
 あるなら当然そういうところ
 へ入ってもらふべきではない
 と思つている。

ただ情報の中で横の情報
 がなかったと言うことは事実で、
 今後の方針としては当然そう
 いうことは考慮すべきであり、
 整理しながらリニューアルし
 ていくので、これはひとつイ

レギュラーとしてご理解いた
 だきたい。

**海士町の
国民保護法進捗状況は！**

問 議員

以前にも保護法について質
 問していたが、今回、保護法
 に基づく訓練が隠岐の島町と
 か米子等で行われている。海
 士町の保護法に関する進捗状
 況はどのようになつているか、
 また保護計画なるものを早急
 に整備していただきたいが町
 長の考えを伺いたい。

答 町長

去る11月16日「隠岐諸島に
 国籍不明の武装集団が上陸し
 た」という想定で、島根県国
 民保護訓練が隠岐の島町を中
 心に行われた。島前3町村は
 机上での想定訓練ということ
 で、本町からは防災担当の総
 務課はもちろんだが、要援護
 者の対応が重要との観点から
 健康福祉課長にも参加させて
 いる。

今回は、隠岐4町村の住民
 を本土へ搬送する想定でシ

ミュレーションを行ったが、
 海上と航空機をフルに運航し
 順調に避難が出来たとしても、
 全住民の搬送には丸一日以上
 を要することになること等、
 課題は残りそうである。

また、海士町国民保護協議
 会委員として15名の方に12月
 1日付で委嘱状を交付し、計
 画策定に向けて協力をお願い
 した。3月には正式に「海士
 町国民保護計画」として報告
 させて頂きたい。



ふれあい大会 ～感謝～

=自分で作ったものは最高！=

教育だより



女の子に人気のレザークラフト



竹細工を楽しむ親子

次の遊び道具を作ることも忘れて、夢中になって遊んでいる。

1月28日(日)、福井小学校の一室、ランチルームでの出来事である。今日は隠岐島前地区PTAふれあい大会で、108名の参加者の

ボン、スポーンと鳴り響く音。壁に当たって落ちる濡れた新聞紙の小さな固まり。時折、竹馬を作っている子どもたちが手を止めてこちらを振り向く。回りの大人たちは、背を丸めたまま手で持つ小刀を動かすことに集中している。開会式が終わって間もないのに、簡単な竹鉄砲から作り始めた子どもたちは、

「来年もしたいなあ。」と言う子どもたち、「子どもたちが喜んでいたらよ。」と伝えてくれた親が何人もいた。

計画段階で抱えていた、「寒い中、人が集まるのか、楽しんでもらえるのか」という不安は、当日の子どもたちの笑顔と言葉、大人たちの思いも寄らぬ真剣な表情によって全て拭い去られていった。

どんどん広まっていくのは、噂話だけでなく、楽しかったことや感動した話も確実に一人一人が伝えてくれる。そんな口コミによる拡大にも期待

方々が思い思いのものづくりでチャレンジしている。他の教室ではレザークラフトや七宝焼きとプラ板、「海士のイカと塩」を使った塩辛も作っている。

どの教室を覗いてみても、全員が真剣な面持ちで手を動かしている。

「いや、素晴らしいなあ。いい表情だ。」

こんなに多くの人が集まって、しかも、だれもがこれまで見せたことのないような表情で熱中している。



殆どの方が初挑戦の七宝焼き！親子ともども真剣な面持ち

「親子交流・地域交流」、「地域の技の伝承」など、所期の目的を十分に達成することができ、町内外の講師の皆様をはじめ、ご参集いただいた皆様に対し、心より感謝申し上げます。

福井小PTA
会長 沼田洋一

して、PTA活動は進めていくことが大切だと思う。より多くの人たちに参加してもらい、考えてもらう。そのためには、やはり、大人も子どもも一緒にあって、楽しみながら活動できる行事を開催することが必要だと改めて感じた一日となった。



旨い塩辛はこうやって作るよ

《講師先生の紹介》

〔竹細工〕
湯本 茂則様 (宇受賀)
小前 勝房様 (宇受賀)
八幡 保様 (宇受賀)
〔七宝焼き・プラ板〕
平木 千秋様 (福井)
〔レザークラフト〕
山田美津江様 (隠岐の島町)

〔塩辛〕
安部 孝子様 (知々井)
中橋ヨシ子様 (知々井)
*講師の皆様大変お世話になりました。
今後ともよろしくお願ひ致します。

大山スキー教室

視野を広げ、自主性を養う体験

1月26日~28日

大山スキー場でスキー教室が行われ、1年生25名が参加しました。雪不足が心配されましたが、生徒たちは思いっきりスキーを楽しむことができました。

ほとんどの生徒が初体験で、はじめは不安や恐怖心があったようですが、滑っていくうちに徐々に慣れ、最終日には参加したすべての生徒が滑れるようになりました。また、島根大学の4名の学生が実習として一緒に参加し、他のスタッフとともにスキーの実技指導や宿泊施設での生徒たちの生活指導で生徒たちをしっかりとサポートしていただきました。大学生たちと同じ部屋で過ごしたことは、生徒たちの楽しい思い出の一つとなったことでしょう。また、このような交流活動は生徒一人ひとりの人と関わる力、コミュニケーションの力を育てる良い機会となり、意義深いものとなりました。今年から学校行事となった学校側では、

この教室を通してスキーの技術を習得する以外に2つのねらいを持って行いました。一つは海士町とはひと味違った雄大な山々の自然にふれ、スキーを体験することで生徒たちの視野を広げるということです。生徒たちは、その大自然の中で何度も転びながらもチャレンジする気持ちを持ち、たくましさや身につけました。そうした島外での体験から生徒たちが海士町を見つめ直す機会となればと考えています。もう一つは公共施設での集団生活を通して、ルールを守ることや自主的に行動できる態度を育てるということです。食事や布団の整理など自分でできることは自分で行い、周りの人たちに配慮しながら行動するということをこの2泊3日の経験の中で身につけることができました。今まで人に頼る気持ちが強かった生徒たちに、自分を変えようとする意識が生まれてきたことをうれしく思います。

この短期間に生徒たちの得たものは大変大きく、意味のあるものだったと思います。

生徒の感想

僕は、このスキー教室を終えてみて、二つのことを得ることができたと思います。まず一つはマナーを考えて行動することです。今回、僕達は集団で公共の施設に宿泊して、集団行動でのマナー、風呂場や部屋を使用する際の次の人への心配りなどを学ぶことができました。二つ目は、何事にも進んで挑戦することです。

スキーの経験が少ない僕達にとって、中の原は急斜面でも怖いものでした。それでも、勇気を出して滑ってみると、だんだん慣れていき、しっかり滑ることができました。「何事も、まずはやってみることだな」と思いました。

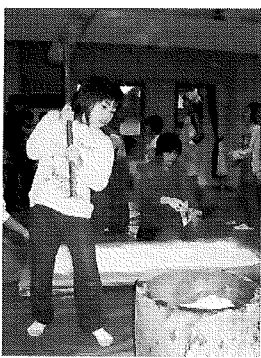
今回の合宿は、先生や教育委員会、施設のみなさん、そして、大学生の皆さん、たくさんの人たちの協力のおかげ

で成功したと思います。その感謝の気持ちを忘れられないようにしたいです。

葛西 輝大



チャレンジ士曜クラブ



「よいしょー」
「よいしょー」
開発センター集会所
いっばいに鳴り響く
声。1月27日、もち
つき大会が行われま
した。海士だけでは
なく、西ノ島、知夫
の児童にも声をかけ、
保護者、スタッフも
入れ総勢70名の参加
となりました。

このもち米は、昨年6月に海士小前の田んぼで田植えを行い、そして10月には稲刈りをして収穫したもち米です。

また、昨年、そのもち米を島前各町村の栄養士さんに取り入れてもらい、給食にも使われました。

低学年の児童にとつて杵はちよつと重たかったかもしれませんが、ふらふらしながらも、保護者・スタッフといっしょに精一杯おもちをついていました。

できたお餅は、あんこ、こじょうゆ味噌、砂糖醤油につけたり、きなこ餅にしていたいただきました。いろいろな味でいただきました。いろいろな

味で食べ、お口いっばいにほお張っていました。

昔は各家庭に臼と杵があり、年末は餅つきを行っていました。時代が進むにつれ便利になり、そのような習慣がすたれてきました。ただ出来上がっているお餅を食べる。なにか寂しい気がします。

今回、田植え、稲刈り、餅つきと行い、汗水流してつくったお餅です。みんなの苦労がまつたお餅です。

これまでに食べたお餅ではとうてい味わったことのない最上級のお餅であったに違いないでしょう。

隠岐島前高校だより

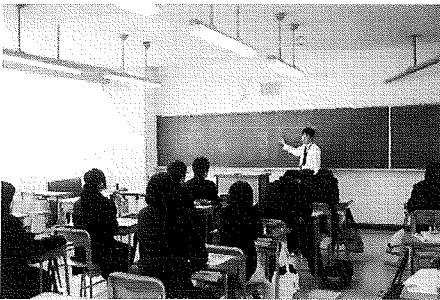
進路実現に向けて

1月20日・21日の両日、大学入試センター試験が行われました。昨年までは松江の島根大学で受験してきましたが、今年度より隠岐の島町で受験できることになりました。無事に試験を終えた3年生たちは国公立大学の2次試験や私立大学の入学試験に向け、最後の追い込みの真っ最中です。また他の3年生たちは自動車学校に通うなど、就職や進学に向けて頑張っています。彼らがそれぞれ希望した進路先にてさらに飛躍できるよう、心より願っています。

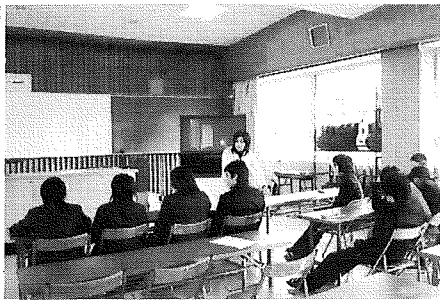
一方在校生達はそんな先輩達を見て、自分たちの将来を見据えながら最終学期を過ごしています。そのため次年度の科目選択や進路について、担任と綿密な面談を行う生徒や、添削指導を熱心に受ける生徒もいます。学校全体としては、朝礼前に朝読書の時間を設定し、生徒の読書力や文章力をつけるよう取り組んでいます。さらに、進路指導部を中心とし、次のようなことをテーマにしながらか総合学習を展開しています。

- ▼1年生：自己理解と職業観の醸成
- ▼2年生：職業・学校研究の促進
- ▼3年生：進路目標の具現化とその実現

そして、中でも肝心なのは「目標を持つこと」です。「目標を持てば、新しい自分が見える」という言葉があります。生徒一人ひとりが自分の持つ可能性を信じ、毎日を大切に過ごしてくれることを切に願います。



総合学習の時間の様子



希望別に分かれての説明を受ける生徒たち



朝読書に取り組む生徒たち

スポーツ安全保険のご案内

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、指導活動を行う方々が安心して活動に専念できるための制度です。
平成19年度は、保険の改定はありません。
子どもの団体とは、中学生以下の5名以上で構成される団体であり、指導者を含んでの5名ではありません。

団体	対象となる団体	加入区分	対象となる事故の範囲	掛け金 (1人年額)	傷害保険				賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
					死亡	後遺障害	入院(日額)	通院(日額)		
子どもの団体	中学生以下の子ども 子どもの保護者 (スポーツの指導、審判を除く)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償500万円 (免責1,000円)	突然死(急性心不全、脳内出血等) 160万円
	中学生以下の子ども (下段は、個人活動中の事故の場合の補償額である)	AW	団体活動中とその往復中以外	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に身体・財物賠償合算で1事故500万円(限度)を加算	
	子どものスポーツ団体の指導者	AC	団体活動中とその往復中	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体・財物賠償 合算 1事故500万円 (免責1,000円)	対象となりません
大人の団体	成人の文化活動、ボランティア活動及び地域活動 (スポーツの指導及び審判、グランド等を除く)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償 1事故500万円	突然死(急性心不全、脳内出血等) 160万円
	老人クラブなど	B	団体活動中とその往復中	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償 1事故500万円 (免責1,000円)	
	成人のスポーツ活動 (野外活動、身体運動を含む)	C	団体活動中とその往復中	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償 1事故500万円	
	危険度の高いスポーツ活動	D	団体活動中とその往復中	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故5億円 (免責1,000円) 財物賠償 1事故500万円	

(注 1) 「スポーツ」とは、運動競技及び身体運動(キャンプ活動その他の野外活動を含む)であって、心身の健全な発達を図るためにされるものを言う。
(注 2) 「子ども」とは、中学生以下の児童、生徒及び幼児、または盲学校、聾学校もしくは養護学校の児童、生徒及び幼児を言う。
(注 3) 「大人」とは、高校生以上の生徒、学生及び社会人を言う。
(注 4) AWにおける個人活動中の傷害保険事故の場合には、日射・熱射病及び細菌性食物中毒は対象とならない。

自衛官募集のお知らせ

一般幹部候補生及び技術幹部候補生を募集します。
 一般・海上技術・歯科・薬剤科のコースから各自衛隊の幹部自衛官となる者（パイロット要員含む）を養成する制度です。

▼幹部自衛官とは・・・

部隊の骨幹と言われ強い責任感と実行力で部隊を指揮する立場にあり、卓越したリーダーシップを持ち、自衛隊をめぐる内外の変化に柔軟に対応し得る優れた自衛官です。

【受付期間】 平成 19 年 4 月 1 日（日）～ 5 月 11 日（金）

【募集資格】 日本国籍を有し、平成 20 年 4 月 1 日現在

- ・学校教育法に基づく大学院において正規の課程を 2 年以上修め、修士の学位を受けた者は、28 歳未満の者
- ・20 歳以上 22 歳未満で学校教育法に基づく大学を卒業した者、又は外国における学校を卒業した場合で大学卒業に相当すると認められる者
- ・現に自衛官である者については、22 歳以上 28 歳未満の者

【試験期日】 一次試験 ・筆記試験 平成 19 年 5 月 19 日（土）

・操縦適性検査 平成 19 年 5 月 20 日（日）（飛行要員希望者）

二次試験 平成 19 年 6 月 19 日（火）～ 21 日（木）のいずれか一日に指定されます。

【試験場所】 一次試験会場は、出雲会場。（飛行要員の操縦適性検査は松江会場）

二次試験会場は別示。

【合格発表】 第一次合格者発表 平成 19 年 6 月 8 日（金）

【採用時期】 平成 20 年 3 月下旬～ 4 月上旬

● お問い合わせ先 自衛隊島根地方連絡部 隠岐の島駐在員事務所 08512-2-8351

水道係からのお知らせ！

水道係では、水道法施行規則第 15 条 6 項に従い、水質検査計画を策定しています。閲覧されたい方は、生活環境課までお問い合わせ下さい。

また、水質検査の結果、水道料金、その他需要家負担金額に関する事についても、お気軽にお問い合わせ下さい。

連絡先：生活環境課 環境係

TEL 08514-2-1826

FAX 08514-2-0208

第 22 回 CHERRY CUP in AMA

隠岐島綱引大会

◆期 日 平成 19 年 4 月 15 日（日）

◆時 間 午前 10 時 30 分開会

◆場 所 隠岐神社外苑（雨天中止）

*申込み〆切：平成 19 年 3 月 24 日（土）

ご家族・ご近所・職場の友お誘い合わせの上ご参加下さいますようご案内致します。

*お問い合わせ先

〒 684-0404 隠岐郡海士町菱浦

承久海道キンニャモニャセンター内

海士町役場 交流促進課

TEL 08514-2-0017

FAX 08514-2-0102



電話帳広告料金請求書にご注意ください！

NTTグループが発行している電話帳広告料金の請求書は、NTT西日本またはNTT中国電話帳株式会社の名称が必ず明記されています。「タウンページ」「ハローページ」に掲載されている広告の切り抜きを貼付した郵便局・銀行の振込用紙はNTTが発行している電話帳の広告料金請求書とは全く関係ありません。

お支払いの際には、必ずお確かめ下さい。

なお、少しでも不審に思ったら、タウンページセンタまで、お気軽にお問い合わせください。

タウンページセンタ

(0120-506-309)

ご協力よろしくお願いたします。

ダイオキシン

検査結果基準値適合 安全値クリア

一般廃棄物最終処分場（崎地区：堤）のダイオキシンの検査結果は、0.70ピコグラムで基準値の10ピコグラム以下でしたので安全な計測結果でした。

(H 18. 7 月測定分)

合格おめでとう!

全国珠算学校連盟珠算・暗算

検定合格者(1/28実施)

第191回珠算検定

初段 吉元 麻湖(菱浦)

第244回珠算検定

2級 高橋 芽生(宇受賀)

3級 藤田 大貴(宇受賀)

5級 千田 翔(北分)

真野 海成(北分)

6級 滝川 七海(宇受賀)

第200回暗算検定

2級 山戸 彪雅(豊田)

5級 千田 翔(北分)

真野 海成(北分)

6級 滝川 七海(宇受賀)

商工会珠算検定合格者

(2/18実施)

第144回珠算検定

2級 子隅菜々美(福井)

5級 仲島 大揮(御波)

山戸 莉緒(豊田)

佐々木梓沙(福井)

竹谷 波(豊田)



戸籍の窓

12/1~1/31届出分(太字は地区在住者)

すこやかに

宇野 佑哉くん 宇受賀 誠
 上田 秀人くん 西 敏睦
 上田 結菜ちゃん 多井 隆之
 桃井 悠斗くん 菱浦 博之
 入江 恋菜ちゃん 北分 信一

しあわせに

小林 靖明さん 中里
 早川 千里さん 中里
 岩本慎一郎さん 西
 村越 由加さん 西
 岡田 英也さん 崎
 横辻 理恵さん 崎
 的場 秀孝さん 中里
 本多 美値さん 中里
 佐藤 哲治さん 西
 石田 晶子さん 西

やすらかに

神保 雅彦さん 東
 嶋津 恵子さん 東
 市田 裕将さん 御波
 八旗美渚子さん 御波
 竹内翔一郎さん 豊田
 青木 綾乃さん 豊田
 西村 幸一さん 御波
 小川 治美さん 御波
 山下 忠範さん 豊田
 工藤 麗恵さん 北分
 山中 雅幸さん 北分
 柴田 理恵さん 北分

鹿島 クニさん 東
 向山 利雄さん 東
 増本 岩信さん 中里
 今石 政次さん 崎
 大江ミツ子さん 宇受賀
 木谷 秋男さん 崎
 麻田 マサさん 菱浦
 眞井ヤスノさん 北分

91歳 90歳 83歳 80歳 83歳 74歳 80歳 91歳

あま 海士っこ



河内 理仁くん 1歳7ヶ月 (H17.7.28生まれ)

智成さん・志保さんのお子さん (菱浦在住)

6月にはお兄ちゃんになるネ。大好きな歌を生まれてくる赤ちゃんにたくさん聞かせてあげてネ。

このコーナーでは、就学前までのお子さんを紹介しています。写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしております。

問い合わせ先:総務課広報係 TEL2-0115

紙上からお礼

●香典返し

- 金一封 伴 俊夫様(東)
- 金一封 室崎たか子様(福井)
- 金一封 福田 正徳様(御波)
- 金一封 石田 馨様(東)
- 金一封 鹿島 就克様(東)
- 金一封 波多日出夫様(東)
- 金一封 藤本 重紀様(菱浦)
- 金一封 今石 計江様(船橋市)
- 金一封 吉野 俊光様(菱浦)
- 金一封 木谷 恭子様(崎)
- 金一封 向山 公児様(中里)
- 金一封 増本ハツ子様(中里)
- 金一封 大江 充様(宇受賀)
- 金一封 五島 和彦様(出雲市)
- 金一封 千歳 梅野様(知々井)
- 寄付金
- 金一封 諏訪会様
- 金一封 齊藤チトリ様(菱浦)
- 金一封 海士中学校第14期卒業生一同様
- 見舞い返し
- 金一封 佃 金次郎様(西)
- (海士町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム諏訪苑より)
- 広報郵送料
- 金一封 関 あつ子様(茨木市)
- 金一封 田黒 公司様(川西市)

- 藤井 幸正さん 知々井 86歳
- 柏原 慶子さん 宇受賀 73歳
- 若林 ハルさん 崎 91歳
- 水上コユキさん 知々井 86歳

駐在さんこんにちは!

知々井駐在所に着任



2月の異動で赴任されました。巡査部長の笠根 広行さんです。地域のみなさんよろしくお願いたします。

【お詫びと訂正】

前回広報海士1月号(No.403号)の第32回島前防犯少年剣道大会の成績一覧表で団体戦2年生以上で下記のとおり誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

(誤り) → (訂正)
 2年生以下 → 2年生以上
 3位(海士剣友会Bチーム) 田中祐志 → 田中裕志

- 金一封 藤井 康明様(寝屋川市)
- 金一封 東 恵子様(大阪府)
- 金一封 南 美登里様(加古川市)
- 金一封 油井 桂子様(西ノ島町)
- 金一封 古谷 謙二様(西宮市)
- 金一封 井藤正彦様(隠岐の島町)